



# 『吉田病院 正常圧水頭症センター』 を開設いたしました

吉田病院は、約10年前より高次脳機能外来を中心に認知症疾患の診断・治療と指導を行ってまいりました。

当院は脳外科を中心とした専門病院であり、外科的に治療可能である水頭症・慢性硬膜下血腫・脳腫瘍に対する診断と治療は、認知症治療に関する地域での役割として非常に重要と考えております。

また、急性発症の認知症(多くは脳卒中)への緊急対応、脳卒中に続発する認知機能障害(高次脳機能障害)の評価とリハビリ、アルツハイマー病など神経変性疾患の診断と経時的評価なども取り組んできています。

そのために、脳神経内科・脳神経外科・リハビリテーション科のチーム医療による詳細な高次脳機能検査(神経心理検査)を含めた検査・診療体制を構築してきました。

正常圧水頭症には、特発性と二次性のものがあり、くも膜下出血・髄膜炎・頭部外傷の後で発症するのは2次性正常圧水頭症です。特発性正常圧水頭症は、一部はアルツハイマー病を合併していることがあり、診断が必ずしも十分に行えているとは言えず、今後積極的に取り組むべき課題であると考えています。

## 1. 正常圧水頭症の3症状

### ● 歩行障害

歩行はゆっくりで、不安定となり、転倒しやすくなります。固縮などパーキンソン症候群を呈するものもあります。多くは手首固化徴候が陽性です。

### ● 認知機能障害

記憶障害・注意障害・意欲低下・発動性低下・動作緩慢・思考緩慢などがあります。

### ● 尿失禁

知らぬ間に出てしまう場合と歩行障害のためにトイレまで間に合わない場合などがあります。

## 2. 診断

**認知機能低下・歩行障害・尿失禁**などの症状がある場合、脳外科専門医・脳神経内科専門医による診断を行います。

**MRIまたはCTの脳画像検査**を行います。

脳室や脳槽の拡大、脳溝の異常所見、高位円蓋部の異常所見などの特徴的な画像所見を確認します。

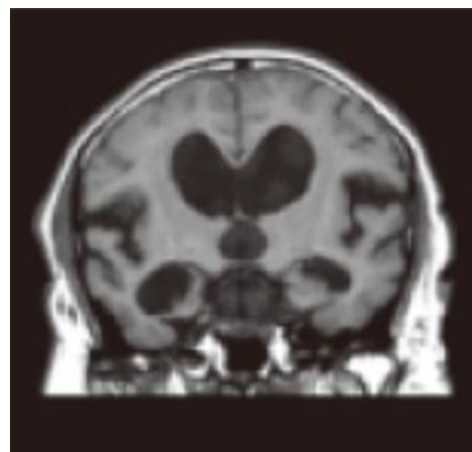
**高次脳機能検査(神経心理検査)**を行います。

認知症スクリーニングセットまたはNPH評価パスを実施します。

**髄液除去試験(タップテスト)**を行います。

腰椎穿刺し髄液を抜くことで歩きやすくなったり、話し方がはっきりしてくるなど変化が見られるか否かを療法士による詳細な評価で判定します。

画像の特徴



- 脳室や脳槽の拡大
- 脳溝の異常所見
- 高位円蓋部の異常所見

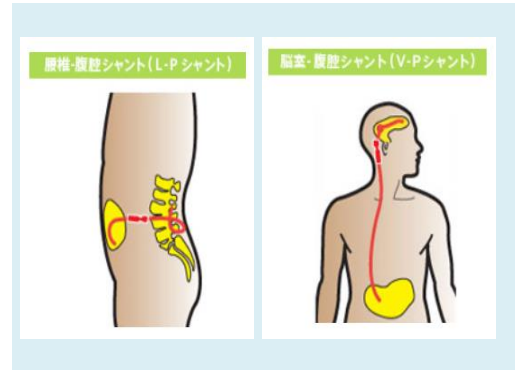
### 3. 治療方法

治療としては、**髄液シャント術**を行います。

当センターでは脳実質に直接の侵襲を加えない L-Pシャント(腰椎-腹腔)を第一選択としております。L-Pシャントが困難な場合は、V-Pシャント(脳室-腹腔)を行います。

手術は全麻下で比較的安全に実施され、30分から1時間という短時間で済みます。入院期間は約1週間です。

シャントバルブには圧を調整する機能があり、当センターで退院後のシャント機能のフォローアップ体制も整備しています。



髄液シャント術 ※特発性正常圧水頭症ガイドライン第2版

### 正常圧水頭症センター

正常圧水頭症の病態や画像所見および治療方法は、以前より明確になってきていますが、全国的には必ずしも普及しているとは言えない状況があります。認知症の診断・治療の中では、特に正常圧水頭症については、チームワークが重要な鍵となると思われます。

当院では、脳外科・神経内科専門医のもとで正常圧水頭症の検査・治療パスを構築しており、認知機能評価には言語聴覚士・作業療法士が対応し、歩行機能やADLの評価および術後のリハビリテーションには理学療法士・作業療法士が進め、臨床工学技士がマネジメントに関わるチームとして、『正常圧水頭症センター』を整備し対応しています。お気軽にご相談ください。(当院は神戸市の認知機能検診および精密検査の実施医療機関です。)

令和元年 6月

社会医療法人 榮昌会 吉田病院 正常圧水頭症センター長 夏目 重厚



正常圧水頭症センターの治療チーム

社会医療法人 榮昌会 吉田病院 附属脳血管研究所

〒652-0803 神戸市兵庫区大開通9丁目2-6

電話番号 078-576-2773 (代) 午前診 午前9時~午後12時(受付終了11時30分)

FAX 078-577-2792 午後診 午後2時30分~午後5時(受付終了4時30分)

